

目次

はじめに

第一章 みずからを変え相手を変える

——合理化反対闘争の教訓にまなぶ

1 “過疎”のなかのたたかい

挙家離村つづく日本一の過疎地帯	六
佐藤アンボ政府の米つくるな政策	一九
“オリンピック”じゃあるまいに	二
社長から「奥様へ」のラブレター	二
長期ストに“偽装倒産”のゆさぶり	三

2 系列企業下のたたかい

生きる権利に「値引き」はない	三
事実と数字で経営実態をバクロ	四
組織の点検と教宣活動を重視	四
無期限ストを背景にちとった成果	五
“住民の足確保”へ自治体も動く	五
“天下り重役”の大きな誤算	六
大手資本進出の目的とねらい	六
“自立再建”という名の合理化協力	六
ものわりの悪い組合はつぶせ	六
「事前協議」無視に組合の怒り	七
重役総退陣と組合の体質改善ねらう	七
創意にみちた二八九日のたたかい	七
仲間のたたかいから徹底的にまなぶ	八
合理化より働いた賃金を返せ!	八
手段をえらばぬ会社の組合攻撃	八
地域住民・自治体も立ちあがる	八

組合の主張とめた親会社・名鉄	六
----------------	---

3 合理化の特徴とたたかひの教訓

強まってきた合理化の政治的性格	三七
目立つ「金融資本」の支配介入	三九
合併・系列下の組織づくりの方向	四〇
激しいタテとヨコの関連合理化	四一
必要な「一点突破」の集中的な対決	四二
物の合理化から人の合理化へ	四三
生存権を前面に職場でたたかう	四四
困難に直面したら原則にかえれ	四五
たたかひの質的な成果を重視	四六

第二章 幸福をつくり出せる機械はない

——人べらし合理化と組織づくり

1 人べらし合理化とはなにか

人べらし合理化のアノ手コノ手	一四
「オートメ化」にどう対処するか	一六
人の下に人をつくる「下請合理化」	一七
休日・休暇もとれない新勤務体制	一八
仲間同士を引き裂く賃金管理	一九
退職金合理化へ第二基本給の攻撃	二〇
人べらし合理化とどうたたかうか	二一

2 組織づくりの新しい課題

はびこる「大組合エゴイズム」	二二
消えてゆくソロバンとインク	二三
つくられるサラリーマンの特権意識	二四
運動発展のカギにぎる青年労働者	二五
組合運営と指導に大きなズレ	二六
カネよりもヒマが欲しい若者たち	二七
青年の多面的要求を正しく組織	二八
運動への自発性と創意を生かそう	二九

3 人べらし合理化とのたたかい

路線四割廃止と三ヶタの人べらし	一六〇
「放慢経営」の赤字を尻ぬぐい	一六九
「事前協議制」の獲得をめざして	一七五
住民の足を確保する共闘会議も発足	一七六
ストライキを背景に解決試案を提示	一七八
団交議事録で事前協議みとめさす	一八五
県当局が「白バス運行」の計画を発表	一八七
会社の路線権放棄に徹底して対決	一九〇
三次にわたる大規模な人べらし合理化	一九六
事前協議協定の限界と生存権要求	二〇一
仲間を信頼したたかう体制づくり	二〇六
指名解雇・不当配転の撤回かちとる	二〇六
企業組合のもつ弱点と政党の役割	二二三

4 事前協議と人事をめぐるたたかい

機械を横目にみでの交渉は事後協議	二一九
------------------	-----

第三章 弱者のスクラムは強者を倒す

——組織攻撃とたたかう組合づくり

1 組織分裂攻撃の特徴

組織分裂は合理化強行の一手段	二二六
組合の体質改善にたいする対抗策	二四二
社会的な影響力もつ組合に反発	二四三
目立つ企業連ぐるみの「丸がかえ」	二四五
暴力化してきた資本の組合対策	二五〇

2 組織攻撃にうちかつ組合運営

クサリも「弱い環」から切れる……………	三五
雑炊組合の弱点を利用した組織攻撃……………	三六
「日陰の花」をつくらぬ組合運営……………	三七
政党と労働組合の正しい関係……………	三八
幹部の団結は組織統一のカナメ……………	三九
重要な闘争の成果と欠陥の総括……………	四〇
「たたかいの評価」は立体的に……………	四一
組織攻撃の切り札——アカ攻撃……………	四二
官僚主義と強制執行は組合の敵……………	四三
ふえてゐる組合財政の不正事故……………	四四
組織強化と結びついた財政活動……………	四五
労働者の素朴な感情を大切に……………	四六
大切な資本の動向と経営内容の把握……………	四七

3 分裂組合とたたかいの教訓

差別撤廃へ立ちあがった四十七士……………	四九
----------------------	----

第四章 喜びも悲しみもたたかいも

——血のかよった職場の仲間づくり

あくどい差別の実態を克明に記録……………	五〇
ストをふくむ長期のたたかいへ発展……………	五一
会社の巻返しに再び怒り爆発……………	五二
分裂から統一へのたたかいの教訓……………	五三

1 組織づくりと職場闘争

職場闘争は時代おくれか……………	五五
合理化下の組織づくりの重要課題……………	五六
職場交渉を否定する資本の攻撃……………	五七
職場闘争にたいする正しい位置づけ……………	五八

2 職場闘争の歴史と目的

職場闘争はどうして生まれたか……………	五九
---------------------	----

大がかりな資本の失地回復闘争	三二
アメリカ型労働協約の押しつけ	三四
職場組織と交渉機能の確立めざして	三七
職場での対等な雇用関係づくり	三九
資本の組合対策が生みだした職場闘争	四二

3 職場闘争の機能と形態

協約・協定は職場で守られているか	四五
組織づくりの基本と組織点検の重点	四八
職場要求と苦情解決のための交渉	五〇
協定の具体化と仲間づくりの活動	五三
多様な職場闘争・職場交渉の形態	五七
労働者の連帯意識と権利への自覚	六〇

4 職場闘争と協約闘争の結合

職場交渉の役割と協約との関係	六四
協約改悪の特徴とたたかいたいの方向	六七
「平和協定論」のまやかしと狙い	七〇

組織づくりと協約との結びつき	七三
協約・協定づくりの目標と重点	七六
協約を馬鹿にせず無協約を恐れず	七九
協約闘争前進のための具体的課題	八四